



ウクライナに一日も早く 元通りの暮らしが戻りますように。

2022年2月24日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を開始しました。ウクライナの復興のためにも、人々の為にも出来ることはしたいと寄付や街頭募金など活動をしていた中、私も顧問をさせて頂いている北九州市防排水工事業協同組合さんがウクライナへの救援金を北九州市に贈呈してくださるとの事で同席をさせて頂きました。受け入れをして頂いた市役所の国際部の方々がウクライナの青い空と小麦の黄色を表した国旗と折り鶴を用意して下さり、胸が熱くなるような贈呈式でした。現在北九州市には26名のロシアの方々と7名のウクライナの方々がいらっしゃいます。避難民の方の受け入れもしています。プーチン大統領が戦争を開始しましたが、北九州にいらっしゃるロシアの方々には何の罪もありません。どうかロシアの方々にもウクライナの方々にも避難をされてきた方々にも差別や区別をすることなく、同じ市に住む仲間として温かく接して頂きますよう、心よりお願い申し上げます。

北九州市議会議員 **森 結実子**



令和4年度の 予算を可決しました

令和4年度の一般会計予算額は、障害児通所・入所支援などの扶助費（+35億円）が増加する一方で、中小企業融資（▲350億円）の減少などにより、前年度比339億円（▲5.3%）減の6,082億円となっています。また一般会計予算額の中には新型コロナウイルス感染症対策予備費として20億円も入っています。

特別会計の予算額は3,955億円で、全体で57億円（▲1.4%）の減となっています。これは土地取得特別会計において土地先行取得費が減少したことなどによるものです。

企業会計の予算額は、2,628億円で、公営競技事業会計において開催日数が減少したことなどにより、全体で68億円（▲2.5%）の減となっています。



令和4年度予算規模

区分	予算総額(令和4年度)	予算総額(令和3年度)	差引(R4-R3)	
			差額	伸率
一般会計	6,082億1,800万円	6,420億9,500万円	▲338億7,700万円	▲5.3%
特別会計	3,954億8,500万円	4,012億3,000万円	▲57億4,500万円	▲1.4%
企業会計	2,627億8,500万円	2,695億3,800万円	▲67億5,300万円	▲2.5%
合計	1兆2,664億8,800万円	1兆3,128億6,300万円	▲463億7,500万円	▲3.5%

1 感染症に対し強靱で 安心できるまちづくり

3回目のワクチン接種の円滑な実施や検査・医療提供体制の確保など、新型コロナ対策に引き続き万全を期すとともに、地域経済の復活に向けた支援を実施することで「感染防止対策と社会経済活動の両立」を実現し、安心して暮らせるまちづくりを進めます。



3 「日本一住みよいまち」の 実現に向けた取り組みの総仕上げ

SDGsを原動力に地方創生の成功モデル都市を目指すとともに、環境や健康、子育て・教育、安全・安心など、コロナ禍を通じてあらゆる分野で生じた人の価値観の変化を的確に捉え、ポストコロナの新しい生活様式に対応した「日本一住みよいまち」の実現に向けた取り組みを進めます。



2 経済の好循環を 生み出す成長戦略の実行



洋上風力発電関連産業の総合拠点化などのグリーン成長に向けた取り組みや、北九州空港など、本市の充実したインフラを活用した物流拠点の形成、スタートアップ企業の創出・育成などにより、感染症の厳しい

経済的な影響を克服し、地域経済の復活に向けて強く前進します。また本市への移住促進や関係人口の創出、企業誘致、若者の地元就職支援などの取り組みを推進するとともに、文化・スポーツ・観光振興などの取り組みを強め、まちのにぎわいを創出します。

令和4年度の
予算の4つの
柱について

4 DXの推進

「北九州市DX推進計画」に基づき、デジタル技術を徹底活用してDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進することとしています。まずは、市民サービスや市役所業務の抜本的な見直しについて、手続きのオンライン化をはじめとする「市民サービスの向上」やデジタルツールの活用等による「業務の効率化」、テレワークの推進等による「職員の働き方改革」などに集中的に取り組むとともに、地域全体のDXにつなげていきます。





本会議報告

2月議会 (2/18~3/24)

2月定例会で 質問に立ちました



質疑内容と答弁

1 子宮頸がんワクチンの接種について

令和3年11月、積極的勧奨の差し控えが終了しました。これを受けて4月から個別勧奨を順次実施すると考えられます。本市が令和2年12月に対象者へ情報提供した後、本市内では何人がHPVワクチンを接種したのでしょうか。また情報提供前と比べて接種の増加等の変化はあったのでしょうか。また対象者がワクチンについて知る機会を様々な手段で確保することが重要と考えますが、周知及び広報をどのように行うのでしょうか。

答弁 令和3年1月~12月までの接種件数は3,100件となり、個別通知を送る前の1年間597件と比べ、2,503件の増となりました。できるだけ早期に対象者の方へ案内したいと考えております。今後はホームページ、市政だより等の様々な媒体を活用し、現在の対象者だけでなく、これから接種対象となる方やその保護者に対しても、必要な情報が周知出来るよう努めて参ります。

2 動物愛護センターのあり方について

本市の動物愛護センターでは動物の命の尊厳を守るため、犬猫の致死処分は、実質ゼロを達成することが出来ております。令和3年度予算で「動物の愛護及び管理に関する今後のあり方検討会」として500万円の予算を計上していましたが、あり方検討会で検討された内容はどのようなものだったのでしょうか。

答弁 あり方検討会では、譲渡情報を広く周知するためのSNSの活用や、動物病院・ペットショップでの情報発信、また譲渡を持続するための新たなボランティア団体の募集や協力体制の構築や、この他にも飼い主のいない猫への餌やり苦情に対し、適切な給餌方法を示した上で、指導を徹底すること。さらに「ペット防災に関する手引書」を使って積極的にペットとの同行避難の周知を図るべきといった意見もありました。また議員ご提案の譲渡の推進については、SNSを活用して譲渡動物を動画で紹介する取り組みも検討して参ります。



市長質疑 先進的介護「北九州モデル」推進事業について

政府は2月7日の規制改革推進会議で、介護人材の人員の規制を緩和する本格的な検討に入りました。本市では既に介護ロボットの動きが効率的になるように特区を取得し、ロボットやシステムの社会実装を始めています。本市でもロボットやシステムを導入する施設を、さらに増やす取り組みを進めてはいかがでしょうか。また市長は若者の就職による定住率を高めるため、積極的にIT企業の誘致が続けていますが、介護システム・介護ロボットをつくるIT企業の誘致につながるよう、市の取り組みに関する情報発信を積極的に行ってはどうか。

答弁

北九州モデルを普及するため今年度は、介護ロボットなど導入支援普及促進センターを開設いたしました。その後現在まで新たに5つの施設への伴奏型支援に取り組んでいます。また人材育成のためにも介護ロボットマスター育成講習を継続的に実施し、これまでに約460人が終了しています。こうした先進介護の取り組みを、介護系の民間企業の誘致につなげるため情報発信が重要です。結果としてIT企業の参画も期待できるのではないかと考え、今後とも努力いたします。



「おくやみコーナー」が 全ての区役所で実施されます

初めての本会議（令和3年2月定例会）で提案をした、死亡にかかる手続きで、行政が行う手続きに関し、簡単かつ確実に出来るようにしてはどうかと提案をいたしましたところ、令和3年11月29日から小倉北区役所でモデル的に実施、令和4年4月1日からは全区役所で実施をされることになりました。まだ1か所で全ての手続きが完了出来ないの、更なる利便性向上に力を尽くして参ります。

水難事故再発防止の為に柵が 設置されました

令和3年5月30日、小倉南区上葛原2丁目付近の竹馬川で、小学生が川で溺れて意識不明の重体になるという痛ましい事故が起きました。事故の現場は水辺に近づけるよう階段なども設置されていましたが、丈の高い雑草が生い茂り、どこまでが地面でどこからが川なのかわかりにくくなっていました。私が令和3年9月定例会で安全が保てるよう改善を求めたところ、川に近づけないよう柵が設置され、川にも柵が設置されました。二度とこのような痛ましい事故が起こらないよう願っています。



ゆみ子の御用聞き

昔から酒屋さんなどが注文を聞いて回っていた『御用聞き』のように、皆様の日常のお困りごとやご意見など、伺って参りたいと思っております。ホームページ・Facebook・お電話などで、お気軽にご相談ください。



ホームページ



Facebook



電話する

moriumiko.jp

www.facebook.com/
morihiroakioffice/

093-964-6069 (森ゆみ子事務所)



2022年1月～3月のあしあと

1/9	成人式
1/10	守恒本町どんど焼き
1/13	保健福祉委員会
1/14	会派会議
1/16	蒲生神社どんど焼き
1/27	保健福祉委員会
1/28	会派会議
1/31	民生委員分科会
2/7	会派会議
2/10～15	定例会前勉強会
2/18～3/24	3月定例会（本会議）
3/8	国際女性デー
2/12	動物愛護センターオープンデー
3/24	ウクライナ支援街頭募金
3/27	技の達人表彰式
3/30	北九州市防水工事業協同組合 ウクライナ救援金贈呈式



▲2月12日 動物愛護センターオープンデーで
動物慰霊のためのお花を植えさせて頂きました。

（その他、市政相談、調査などを日常的に行っています）

Profile 森ゆみ子プロフィール



- 神奈川県平塚市生まれ（昭和41年10月4日）
- 玉川大学文学部芸術学科美術専攻卒業（平成元年3月）
- 株式会社文化財保存計画協会入社（平成元年5月～）
- ホーチキ株式会社派遣勤務（平成3年8月～）
- 結婚（平成6年6月）
- 森とアメリカピッツバーグ市へ（平成7年5月～11月）
- 北九州市議会議員森浩明事務所勤務（平成9年2月～）
- 夫、森浩明 他界（令和元年10月15日）
- 北九州市議会議員1期目（令和3年2月）
- 市議会での会派はハートフル北九州
- 市議会での委員会は保健福祉委員会

【好きな食べ物】イチゴのショートケーキ・チョコレート

【好きな動物】猫・うさぎ

【趣味】茶道（表）・コーラス